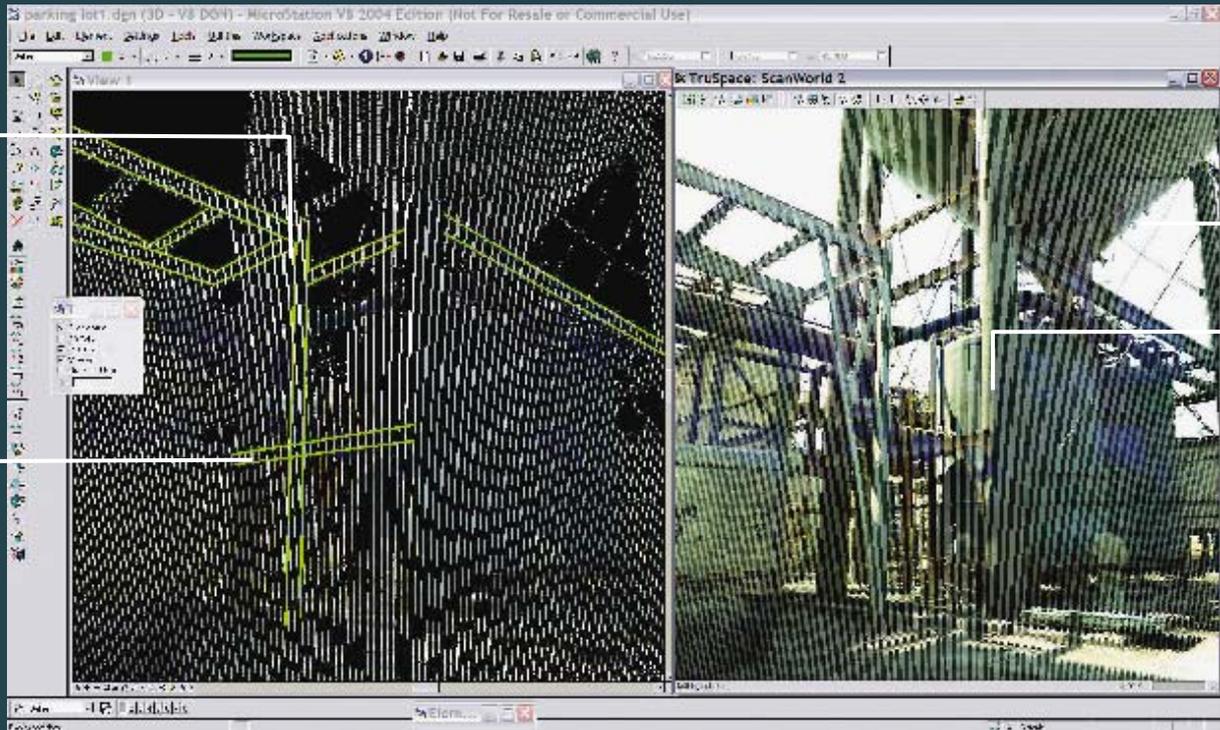


Leica CloudWorx 4.0 for MicroStation

MicroStation でレーザースキャニングデータを利用する手ごろなプラグインソフトウェア

簡単な操作の TruSpace ビューの操作に CAD ウィンドウと同期させることができます。

TruSpace で選択された点は、線分を描くような CAD コマンドに送ります。



TruSpace ビューには、より良いビジュアルライゼーションのため背景イメージも含まれます。

TruSpace ビューは、スキャンしたイメージをより鮮明に表現します。

建築、プラント、土木、その他 2D/3D プロジェクトのレーザースキャンデータの効率的な管理、閲覧、処理

Leica CloudWorx 4.0 for MicroStation は、as-build 点群データ (レーザースキャナーで取得された) のための もっともポピュラーな MicroStation プラグイン ソフトウェアです。

ユーザーは使い慣れた MicroStation のインターフェイスとツールを利用することでレーザースキャンデータを使った業務の習熟時間を最小にします。Leica CloudWorx と強力な Cyclone 点群エンジンによって、効果的に大きな点群データセットの視覚化と加工処理が可能となりました。正確なあるがままの 2D と 3D を作成し、既存の状況についての提案・検証、重要な施工や組立の品質保証を MicroStation の下で成し遂げてください。

過去においては、MicroStation 点群プラグインの利用する上で点群操作に問題がありました。CloudWorx 4.0 では強力な TruSpace によって解決しています。直感的なパノラマビューによって点群が何を意味しているのか、よりハッキリ見せてくれます。そして MicroStation で前例のないほどの点群の表示スピードを実現させました。

特長と導入効果

- MicroStation でのスキャンデータの高速操作
- スライス - 自動 / 簡単なトレースによる 2D 線分、円弧、ポリライン化
- 自動パイプ適合 - PDS や PlantSpace などによるインテリジェントの付加
- 正確な突合せや干渉チェック
- 完全な 3D あるいは 2D 形状の創出
- 英語、ドイツ語 そして日本語バージョン

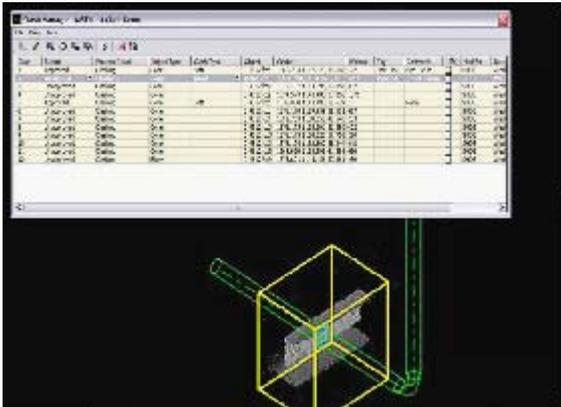
- when it has to be right

Leica
Geosystems

Leica CloudWorx 4.0 for MicroStation



CloudWorx における典型的な点群データの使い方は、建築立面やモデルの生成のため、寸法的に正しい 2D あるいは 3D ワイヤフレームをトレースすることです。



クラッシュマネージャは、管理・追跡・割当・分類するためにデータベースを構築します。強力なナビゲーションによりいくつかのクラッシュを独立したビューに表示することができます。ここでは計測した梁の点群データにパイプが干渉している状態になっています。

点群表示コントロール

注目すべき領域にフォーカスするために、使いやすいツールで 3D 点群の表示領域を指定します。改善されたビジュアライゼーションのより、点群の各部は状況に応じてフェンスを用いた領域の非表示設定、ユーザー定義によるカットプレーン、スライスあるいは 3D リミットボックスを使うことができます。

正確な建築ドキュメンテーション

点群データのスライスは平面、立面図面の作成を容易にします。2D 線分、ポリライン、そして円弧は正確な成果をもたらします。点群のクロスセクションは直接、横断面を表すことも可能となります。斬新で正確な出力物の導入によってプロジェクトサイクルタイムの低減を推し進めます。

あるがままのパイピングモデル

パイプフィッティングツールは、Bentley PlantSpace, PDS などと連携すると、すばやく精密で、インテリジェントな、あるがままの点群に整合するパイピングモデルを作成することができます。

改造プロジェクトのための詳細な情報

エンジニアは改造計画プロジェクトに内在する現状の点群と計画との間の干渉問題に CloudWorx を用いることができます。点群によってもたらされる比類のないディテールは、エンジニアに正確で、広範囲な 2D または 3D 設計を可能にします。プロジェクトの様々な建設段階において時間、コストの削減に寄与することになります。

土木エンジニアリングアプリケーション

Leica CloudWorx は、土木プロジェクト(交通基盤、地域開発、橋梁モデルなど)のためにソリューションを提供する Bentley InRoads や GEOPAK などのアプリケーションとインテグレートすることができます。詳細な点群データから簡単に地盤特徴点の 3D 座標を取り出すことができ、現況地盤データを地形モデルに展開することが可能になります。

複数の言語で利用可能

Leica CloudWorx for MicroStation は、英語、ドイツ語、日本語でご利用いただけます。詳しい製品仕様は、CloudWorx 4.0 技術仕様などのドキュメントを参考にしてください。

Leica CloudWorx for MicroStation 製品概要*

ハードウェア、システム要求

大量点群マネージメント	3D リミットボックス、スライス、対話型ビジュアライゼーションなど非常に大きなデータセットを扱う Cyclone データベーステクノロジー: 高速点群マネージメント
レンダリング	点群詳細レベル (LOD) による表示、一つの選択による密度コントロール
ビジュアライゼーション	反射強度マップ、トゥールカラー TruSpace パノラミックビュー <ul style="list-style-type: none"> キープランによる計測点の指定 TruSpace から CAD ビューポイントの制御 TruSpace で簡単に設定する CAD に配置されるクイックリミットボックス TruSpace から選択した点を CAD コマンドへ送信 背景イメージの統合 リミットボックス、スライス、カットプレーン
計測	3D ポイントの座標間、点間、点とモデル間
モデリング	パイピングモデリング 最小二乗法を用いたフェンス内ポイント、選択したポイントから発生、選択したポイントからパイプの発生、パイプから接合の発生 平面 (パッチ) サーフェイス モデリング、最適 2D 線分、ポリライン、円弧、フランジタイポイント
干渉チェック	点群による干渉問題をチェックするクラッシュマネージメントデータベースシステム

プロセッサ: 2 GHz Pentium® 4 あるいはそれ以上
RAM: 1GB (Vista では 2GB)
ハードディスク: 2GB
ネットワークカード: ライセンスのため、Ethernet ネットワークカード
ディスプレイ: SVGA あるいは OpenGL アクセラレーテッドグラフィックカード (最新ドライバー)
オペレーティングシステム: Microsoft Vista** (32 あるいは 64)、あるいは Microsoft Windows XP (SP2 あるいはそれ以上) (32 あるいは 64)、Windows 2000 (SP3 あるいはそれ以上)
ファイルシステム: NTFS

** Vista のデスクトップ ウィンドウマネージャ(DWM)は Cyclone をサポートしません。またウィンドウズのクラッシュモードでの操作になります。

* 詳しい製品仕様は、Cyclone 6.0 技術仕様などのドキュメントを参考にしてください。

WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。CyraxとHDSは登録商標、CycloneとCloudWorxはLeica Geosystems LLCの商標です。他の全ての商標または登録商標は、Leica Geosystemsの固有の資産です。イラスト、説明記述、技術仕様等予告なく変更することがあります。